DVD-Multiドライブ
取扱説明書

C79461000

ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りします。
（2）本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
（4）本製品を運用した結果の影響については、（3）項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

Microsoft、MS、MS-DOS、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

© エプソンダイレクト株式会社　2003
© エプソン販売株式会社　2003

はじめに

このたびはDVD-Multiドライブをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。本書では、DVD-Multiドライブの使い方について説明しています。ご使用の前に必ずお読みください。なお、お読みになったあとは、大切に保管してください。また、お使いのコンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』−「安全にお使いいただくために」および「製品保護上の注意」もあわせてお読みください。

表記について

本書の中で使用している記号の意味は、次のとおりです。

安全に関する記号

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する記号

制限事項です。
機能または操作上の制限事項を記載してあります。

参考事項です。
覚えておくと便利なことを記載してあります。

●●●▶ **説明文が次ページに続くことを示します。**

☞ **参照ページを示します。**

1 2 **操作手順です。**
ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。

目次

はじめに 1
1 添付品の確認 3
2 本ドライブの特長 4
使用可能なメディア 4
書き込み/読み出し速度 6
3 各部の名称と働き 7
前面パネル 7
ランプ表示 7
背面パネル 8
4 取り扱い上の注意 9
使用時の取り扱い 9
メディアの取り扱い 10
5 本ドライブの装着 11
ジャンパスイッチの設定 11
装着の手順 12
6 本ドライブの使い方 14
メディアのセットと取り出し 14
メディアへの書き込み 15
DVD VIDEOの再生 17
オンラインマニュアルの見方 18
7 ソフトウェアのインストールについて 19
8 困ったときに 21

1 添付品の確認

DVD-Multiドライブ(以下、本ドライブ)には、次の梱包品が添付されています。すべて揃っていることを確認してください。万一、不足や不良がありましたら、お買い上げいただきました販売店、サービスセンターまたは修理センターまでご連絡ください。

- □ **DVD-Multiドライブ本体**
- □ **DVD-Multiドライブ取扱説明書(本書)**
- □ **WinDVDパッケージ**
- □ **B's Recorder GOLD/B's CLiPパッケージ**
  「B's Recorder GOLD/B's CLiP CD-ROM」には、「B's Recorder GOLD」、「B's CLiP」のほかにも、DVD-RAMメディアをフォーマットするソフトウェア「DVD-RAM driver」も登録されています。

参考

- **コンピュータと本ドライブを同時に購入した場合、本ドライブはあらかじめコンピュータに装着されています。**
- **コンピュータと本ドライブを同時に購入した場合、「B's Recorder GOLD」、「DVD-RAM driver」、「WinDVD」は、あらかじめHDDにインストールされています。「B's CLiP」はインストールされていません。必要に応じてインストールしてください。**
  p.19「ソフトウェアのインストールについて」
- **各ソフトウェアのマニュアルは、オンラインマニュアル(pdf)で提供されています。**
  p.18「オンラインマニュアルの見方」

2 本ドライブの特長

本ドライブは、次のような機能を備えています。

・CD-ROMメディアの読み出し。
・CD-RメディアやCD-RWメディアへの書き込み。
・DVD-ROMメディアの再生。
・DVD-Rメディア、DVD-RWメディア、DVD-RAMメディアへの書き込み。

使用可能なメディア

CD-ROMメディア

データ、音楽、画像などが登録されている読み込み専用メディアです。CD-ROMメディアに書き込みをすることはできません。

CD-Rメディア

データ、音楽、画像などを一度だけ書き込むことができるメディアです。書き込まれたデータなどを消去したり、移動したりすることはできません。ただし、マルチセッションという方法により、空き容量があれば繰り返し追記することができます。

CD-RWメディア

データ、音楽、画像などを保存できます。フォーマットし、繰り返し書き込みが行えるメディアです。

DVD-ROMメディア

データ、音楽、画像などが登録されている読み込み専用メディアです。CD-ROMメディアにくらべて大容量のデータが登録されています。DVD-ROMメディアに書き込みをすることはできません。

DVD-Rメディア

大容量のデータ保存や、DVD VIDEO形式でオリジナルDVDを作成することができます。DVD-Rメディアは、CD-Rメディアと同様に、一度だけ書き込みができるメディアです。マルチセッションにより、ディスクに空き容量があれば繰り返し追記することもできます。

DVD-RWメディア

大容量のデータ保存や、DVD VIDEO形式でオリジナルDVDを作成することができます。DVD-RWメディアは、CD-RWメディアと同様に、書き換えが可能なメディアです。

DVD-RAMメディア

大容量のデータ保存や、DVD VIDEO形式でオリジナルDVDを作成することができます。DVD-RAMメディアには、メディアの両面に書き込みができるものもあり、DVD-RメディアやDVD-RWメディアに比べ、大容量のデータ書き込みが可能です。

また、本ドライブに添付の「DVD-RAM driver」でフォーマットすると、データをドラッグアンドドロップするだけ（FDを使用するときと同じような感覚）で、メディアに書き込むこともできます。

p.16「DVD-RAMメディアの使い方」

制限

- **作成したDVD VIDEOは、市販のDVDプレイヤーでも再生が可能です。ただし、プレイヤー側が各メディアに対応している必要があります。**
- **「DVD-RAM driver」でフォーマットしたDVD-RAMメディアは、「B's Recorder GOLD」では書き込むことができません。「B's Recorder GOLD」でDVD-RAMメディアに書き込む場合は、ブランクメディア（何も書きこまれていないメディア）を使用してください。**
- **DVD-RAMメディアがカートリッジに収納されている場合、カートリッジに収納されたままの状態では、本ドライブで使用できません。カートリッジからメディアが取り外せる場合は、取り外して使用してください。**

■ 適応メディアー覧表

本ドライブが適応しているメディアは、次のとおりです。

メディア		読み出し（Read）	書き込み（Write）
CDメディア	CD-DA	○	×
	CD-R	○	○
	CD-RW	○	○
	CD-ROM	○	×
DVDメディア	DVD-ROM	○	×
	DVD-R	○	○
	DVD-RW	○	○
	DVD-RAM	○	○
	DVD+RW	×	×
	DVD+R	×	×

書き込み/読み出し速度

本ドライブの書き込み速度および読み出し速度は、次のとおりです。

■書き込み速度

	メディア	書き込み対応速度
DVDメディア	DVD-R	2倍速
	DVD-RW	1倍速
	DVD-RAM	2倍速
CDメディア	CD-R*	最大12倍速
	CD-RW*	最大8倍速

*メディアへの書き込みは、書き込み速度に対応したメディアをご使用ください。

■読み出し速度

DVDメディア・・・最大12倍速読み出し
CDメディア・・・最大32倍速読み出し

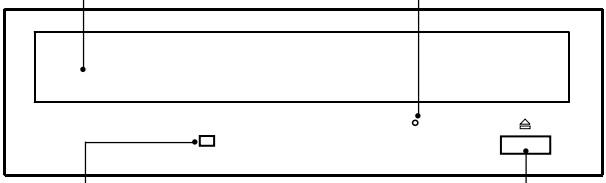
3 各部の名称と働き

本ドライブの各部の名称と働きは、次のとおりです。

前面パネル

● **ディスクトレイ**
メディアをセットします。

● **イジェクトホール**
イジェクトボタンを押しても、ディスクトレイが開かないときに使用します。



● **アクセスランプ**
メディアアクセス時に点灯・点滅します。

● **イジェクトボタン**
コンピュータの電源が入っているときに押すとディスクトレイが 開きます(ソフトウェアの制御により、イジェクトボタンを押してもディスクトレイが開かない場合があります)。

ランプ表示

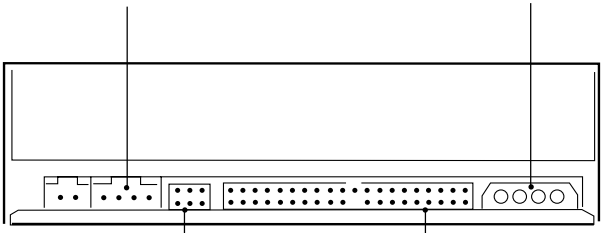
アクセスランプの表示と動作状態の関係は、次のとおりです。

アクセスランプ表示	動作状態
緑点滅	メディアの再生中
緑点灯	メディアへの書き込み中 イジェクトボタンを押したとき

背面パネル

● **CDオーディオコネクタ**
CDオーディオケーブルを接続します。

● **電源コネクタ**
コンピュータ内部の周辺機器用電源ケーブルを接続します。



● **ジャンパスイッチ**
本ドライブの優先順位(マスタやスレイブなど)を設定します。

● **IDEインタフェースコネクタ**
IDEインタフェースケーブルを接続します。

4 取り扱い上の注意

本ドライブをお使いになる前に、お使いのコンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』－「安全にお使いいただくために」および「製品保護上の注意」を本章とあわせて必ずお読みになり、正しく取り扱ってください。

- **ディスクトレイに手を入れ、挟まれないように注意してください。けがの原因になります。**
- **ひび割れや変形補修したメディアは使用しないでください。本機の内部で飛び散って、けがの原因になります。**

使用時の取り扱い

- ディスクトレイを出したまま放置しないでください。故障の原因になります。
- メディアの出し入れのとき以外は、ディスクトレイの開閉をしないでください。
- 開いているディスクトレイの上に物を置かないでください。また、上から強く押さないでください。
- メディアの再生中や書き込み中に振動や衝撃を与えないでください。
- 本ドライブは、お使いになるコンピュータの温湿度条件下で使用してください。詳しくは、お使いのコンピュータの『ユーザーズマニュアル』－「機能仕様一覧」をお読みください。
- 磁石など磁気を持つものを近づけないでください。磁気の影響で、動作が不安定になる場合があります。
- 結露した状態で使用しないでください。寒いところから暖かいところへ急に持ち込むと、結露（水滴が付着する状態）し、誤動作や故障の原因になります。メディアを取り出して約１時間ほど放置した後に、使用してください。
- 揮発性の殺虫剤などをかけないでください。ケースの変形や塗装がはげる原因になります。

メディアの取り扱い

- 直射日光が当たる所、暖房器具の近くなど、高温・多湿となる場所には置かないでください。
- 温度差の激しい場所に置かないでください。結露する場合があります。
- 上に物を載せないでください。
- 汚したり、落としたりしてキズを付けないでください。
- クリップではさむ、折り曲げるなど、無理な力をかけないでください。
- ボールペンなどの先の硬いもので文字を書いたり、シールや紙を貼らないでください。
- アクセスランプ点灯・点滅中は、メディアを取り出したり、コンピュータの電源を切ったり、リセットしないでください。
- 使用後は、コンピュータにセットしたままにしたり、裸のまま放置したりしないでください。専用のケースに入れて保管してください。
- ゴミやホコリの多いところでは、使用や保管しないでください。
- 信号面（文字などが印刷されていない面）に触れないでください。
- レコードやレンズ用のクリーナーなどは使わないでください。クリーニングするときは、CD専用クリーナーを使ってください。
- レコードのように回転させて拭かないでください。内側から外側に向かって拭いてください。

5 本ドライブの装着

本ドライブをコンピュータに装着する方法について説明します。あとから装着する場合や、取り外したあとに再度装着する場合などに参照してください。お使いのコンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』−「システムの拡張」もあわせてご覧ください。

5.25型ドライブ装置の取り付け・取り外しができないコンピュータをお使いの場合は、本章は必要ありません。

ジャンパスイッチの設定

本ドライブは、コンピュータに標準で装備されているIDEインタフェースに接続します。IDE機器（IDE HDD、IDE CD-ROMドライブやATAPI MOなど）を複数使用する場合は、すべてのIDE機器にマスタやスレイブ、ケーブルセレクトと呼ばれる優先順位の設定をする必要があります。

『ユーザーズマニュアル』−「IDE装置の設定」

本ドライブの優先順位の設定は、本ドライブ背面のジャンパスイッチで行います。あらかじめお使いのコンピュータに接続されているすべてのIDE機器の数と種類を確認してください。ジャンパスイッチの設定方法は、次のとおりです。

1 **本ドライブを含め、接続されているすべてのIDE機器に対して、優先順位を決定します。**

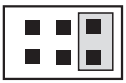
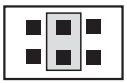
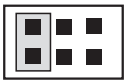
『ユーザーズマニュアル』−「IDE装置の設定」

5.25型ドライブを2台接続する場合は、2台ともセカンダリコネクタに接続します。その場合、セカンダリコネクタの優先順位を次のように設定してください。

マスタ	スレイブ
CD-ROMドライブ	DVD-Multiドライブ

2 **手順1で決定した本ドライブの優先順位を、ジャンパスイッチで設定します。本ドライブのマスタ、スレイブ、ケーブルセレクトのジャンパスイッチの位置は、次のとおりです。**

p.8「背面パネル」

ドライブ設定	ジャンパスイッチの位置
マスタ	
スレイブ	
ケーブルセレクト	

装着の手順

警告

コンピュータの電源ケーブルを電源コンセントに接続した状態で、本ドライブを装着しないでください。感電や火傷の危険があります。

■ドライブベイへの装着

本ドライブは、コンピュータの5.25型ドライブベイに装着します。装着する際は、お使いのコンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』―「システムの拡張」をご覧ください。

■各ケーブルの接続

コンピュータに装着したあとは、各ケーブルを接続します。各コネクタの位置は、p.8「背面パネル」をご覧ください。コネクタにはそれぞれ誤挿入防止のための切り欠きがあります。切り欠きとケーブル側コネクタの突起の位置を合わせて接続してください。お使いのコンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』―「ドライブ(IDE)装置の接続例」も参照してください。

1 **本ドライブ背面のIDEインタフェースコネクタに、IDEインタフェースケーブルを接続します。**

2 **スピーカから音を出すようにするために、CDオーディオケーブルを接続します。**

- **サウンドボードをお使いの場合**

  本ドライブのCDオーディオコネクタと、サウンドボード上のCDオーディオ内部接続用コネクタに接続します。

- **メインボード上にあるサウンド機能をお使いの場合**

  本ドライブのCDオーディオコネクタと、メインボード上のCDオーディオ内部接続用コネクタに接続します。
  メインボード上にサウンド機能が搭載されていないモデルもあります。

3 **本ドライブの電源コネクタに、コンピュータ内部の周辺機器用電源ケーブルを接続します。**

6 本ドライブの使い方

本ドライブの使い方について説明します。使用する際は、次の注意事項を守り正しくお使いください。

スピーカなどを使用する場合は、ボリューム調節ダイヤルを最小に調節してから接続してください。ボリューム調節が大きくなっていると、思わぬ大音量により聴覚障害の原因となります。

メディアのセットと取り出し

メディアのセット方法と取り出し方法については、お使いのコンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』ー「CD-ROMドライブを使う」をご覧ください。ドライブの形状は異なりますが、基本的な操作方法は同じです。その際には、「CD-ROMドライブ」を「マルチドライブ」と読み替えてください。

- **本ドライブを縦置きで使用する場合、8cmメディアは使用できません。**
- **楕円など通常と異なる形状のメディアは使用できません。**
- **DVD-RAMメディアがカートリッジに収納されている場合、カートリッジに収納されたままの状態では、本ドライブで使用できません。カートリッジからメディアが取り外せる場合は、取り外して使用してください。**

メディアへの書き込み

本ドライブでは、データ、音楽、画像などをCD-Rメディア、CD-RWメディア、DVD-Rメディア、DVD-RWメディア、DVD-RAMメディアに書き込むことができます。また、CD-RメディアやCD-RWメディアに書き込む際に発生するバッファアンダーランエラー*を自動的に防止する機能を搭載しています。そのため、書き込みエラーを未然に防ぐことができ、メディアを無駄にすることなく、安心して書き込みが行えます。

*一定の速度でメディアへ書き込めないと、発生するエラーのことです。
メディアへの書き込みは、書き込むデータをDVD-Multiドライブ側のバッファメモリに一時的に蓄えながらメディアに書き込んでいます。書き込み中にコンピュータで他の作業をするなど、バッファメモリのデータを使い切ってしまうと発生します。

■メディアへの書き込み時の注意

メディアへの書き込みを行っているときに、Windowsが省電力モードに切り替わると、メディアへのデータ転送エラーが起き、書き込みに失敗する場合があります。書き込みを行う前に、省電力機能を無効にしてください。

『ユーザーズマニュアル』－「省電力機能を使う」

省電力機能を無効にする方法は次のとおりです。

1 **[スタート]－「コントロールパネル」をクリックします。**
Windows 2000の場合は、[スタート]－「設定」－「コントロールパネル」をクリックします。

2 **「パフォーマンスとメンテナンス」－「電源オプション」をクリックします。**
Windows 2000の場合は、「電源オプション」アイコンをダブルクリックします。

3 **「モニタの電源を切る」など、すべての項目の時間設定を「なし」に設定します。**

4 **[適用]をクリックし、[OK]をクリックします。これで、省電力モードが無効になります。**

■ライティングソフトウェア

メディアへ書き込みをする場合は、ライティングソフトウェアが必要です。本ドライブには、ライティングソフトウェアとして「B's Recorder GOLD」と「B's CLiP」が添付されています。購入時には、「B's Recorder GOLD」のみインストールされています。「B's CLiP」は必要に応じてインストールしてください。
☞ p.19「ソフトウェアのインストールについて」

「B's Recorder GOLD」の詳しい使用方法については、オンラインマニュアルをご覧ください。
☞ p.18「オンラインマニュアルの見方」

■DVD-RAM メディアの使い方（DVD-RAM driver）

DVD-RAMメディアは、「B's Recorder GOLD」を使用してDVD VIDEOなどを作成できるほかに、「DVD-RAM driver」でフォーマットしてデータを書き込むこともできます。
「DVD-RAM driver」でフォーマットしたメディアでは、書き込みたいデータをドラッグアンドドロップするだけでデータの書き込みを行うことができます。
「DVD-RAM driver」の詳しい使用方法については、オンラインマニュアルをご覧ください。
☞ p.18「オンラインマニュアルの見方」

「DVD-RAM driver」でフォーマットしたDVD-RAMメディアは、「B's Recorder GOLD」では書き込むことができません。「B's Recorder GOLD」でDVD-RAMメディアに書き込む場合は、ブランクメディア（何も書きこまれていないメディア）を使用してください。

【Windows 2000で使用する場合】

本ドライブをWindows 2000で使用する場合は、デスクトップ上の「マイコンピュータ」の中に、通常のCD-ROMアイコンとは別に「リムーバブルディスク」というアイコンが作成されています。「DVD-RAM driver」でDVD-RAMメディアをフォーマットしたり、フォーマットしたメディアにアクセスする場合は、「リムーバブルディスク」アイコンを使用してください。

購入時には「DVD-RAM driver」はインストールされています。Windowsを再インストールした場合などは、「DVD-RAM driver」の再インストールが必要です。
☞p.19「ソフトウェアのインストールについて」

DVD VIDEOの再生

本ドライブでは、DVD VIDEOの再生ができます。コンピュータ購入時には、DVD VIDEOを再生するためのソフトウェア「WinDVD」がインストールされています。「WinDVD」の詳しい使用方法は、オンラインマニュアルをご覧ください。
☞p.18「オンラインマニュアルの見方」

■DVD VIDEO再生時の制限

「WinDVD」でDVD VIDEOの再生をする場合に、次の解像度、色数、リフレッシュレートの組み合わせではDVD VIDEOの再生ができません。DVD VIDEOの再生ができない場合は、解像度などを確認して変更してください。

表示できない組み合わせ

解像度	色数	リフレッシュレート
1024×768ドット	16ビット/24ビット/32ビット	最適
1024×768ドット	16ビット/24ビット/32ビット	85Hz
1280×1024ドット	すべて	すべて

1024×768ドットで表示する場合は、リフレッシュレートを「60Hz」～「75Hz」に設定してください。

オンラインマニュアルの見方

本ドライブに添付されている各ソフトウェアのマニュアルは、オンラインマニュアル(pdf)で提供されています。
各ソフトウェアの詳しい使用方法は、オンラインマニュアルをご覧ください。

● **B 's Recorder GOLD**

B 's Recorder GOLDのマニュアルは、[スタート]メニューから見ることができます。

[スタート]－「(すべての)プログラム」－「B.H.A」－「B's Recorder GOLD5」

● **DVD-RAM driver**

DVD-RAM driverのマニュアルは、[スタート]メニューから見ることができます。

[スタート]－「(すべての)プログラム」－「DVD-RAM」－「DVD-RAMドライバー」－「DVD-RAMディスクの使い方」

● **WinDVD**

WinDVDのマニュアルは、「WinDVD CD-ROM」に登録されています。

「WinDVD CD-ROM」を本ドライブにセット－[スタート]－「マイコンピュータ」(Windows 2000は「マイコンピュータ」をダブルクリック)**－CD-ROMアイコンを右クリック－「開く」－「Manual」**

● **B 's CLiP**

B 's CLiPのマニュアルを見るためには、B 's CLiPをインストールする必要があります。B 's CLiPのマニュアルは、[スタート]メニューから見ることができます。

[スタート]－「(すべての)プログラム」－「B.H.A」－「B's CLiP」

7 ソフトウェアのインストールについて

本章では、本機に添付されているソフトウェアのインストールについて説明しています。

● B's Recorder GOLD

コンピュータ購入時にあらかじめインストールされています。Windowsを再インストールした場合は、「B's Recorder GOLD」のインストールが必要です。
インストール方法については、「B's Recorder GOLD/B's CLiP CD-ROM」に登録されているクイックガイド(PDFファイル)をご覧ください。
クイックガイド(PDFファイル)を開く手順は次のとおりです。

「B's Recorder GOLD/B's CLiP CD-ROM」を本ドライブにセット－[スタート]－「マイコンピュータ」(Windows 2000は「マイコンピュータ」をダブルクリック)**－CD-ROMアイコンを右クリック－「開く」－「BsGOLD5」－「DOC」－quick**

● DVD-RAM driver

コンピュータ購入時にあらかじめインストールされています。Windowsを再インストールした場合は、「DVD-RAM driver」のインストールが必要です。
インストールは、「DVD-RAM driver」のインストーラを起動して、画面の指示に従って行ってください。
インストーラの起動方法は次のとおりです。

「B's Recorder GOLD/B's CLiP CD-ROM」を本ドライブにセット－表示されたメニューから「DVD-RAM driver」をクリック

● WinDVD

コンピュータ購入時にあらかじめインストールされています。Windowsを再インストールした場合は、「WinDVD」のインストールが必要です。
インストール方法については、オンラインマニュアルをご覧ください。
☞ p.18「オンラインマニュアルの見方」

● **B's CLiP**

コンピュータ購入時にインストールされていません。必要に応じて、「B 's CLiP」のインストールを行ってください。

インストール方法については、「B's Recorder GOLD/B's CLiP CD-ROM」に登録されているクイックガイド(PDFファイル)をご覧ください。

クイックガイド(PDFファイル)を開く手順は次のとおりです。

「B's Recorder GOLD/B's CLiP CD-ROM」を本ドライブにセット－[スタート]－「マイコンピュータ」(Windows 2000は「マイコンピュータ」をダブルクリック)**－CD-ROMアイコンを右クリック－「開く」－「BsCLiP」－「DOC」－Quick**

8 困ったときに

本ドライブの調子がおかしいと感じたときは、下記の項目を確認してみてください。また、添付ソフトウェアのマニュアルも参照してください。確認後も状況が変わらない場合は、お買い求めいただきました販売店、サービスセンターまたはテクニカルセンターまでご連絡ください。

現象　コンピュータが起動しなくなった。本ドライブにアクセスするとコンピュータが停止（ハングアップ）する。

対処

- コンピュータの使用環境について、お使いのコンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』－「安全にお使いいただくために」、「製品保護上の注意」および本書「取り扱い上の注意」の項目を確認してください。
- 本ドライブに、IDEインタフェースケーブルおよび電源ケーブルが正しく接続されているか、また、ケーブルにキズや損傷などがないかを確認してください。
- p.11「ジャンパスイッチの設定」を参照して、本ドライブおよびほかのIDE機器の優先順位（マスタやスレイブなど）の設定を確認してください。

現象　セットしたメディアにアクセスできない。

対処

- メディアが正しくセットされているか確認してください。
- メディアの表面に傷などがないか確認してください。
- メディアを挿入した直後、アクセスランプ点灯中はデータの読み込み準備のため、アクセスできません。この場合は、アクセスランプの消灯を待って、もう一度アクセスしてみてください。
- 別のCD-ROMにアクセスできるか確認してください。問題がない場合は、アクセスできないメディアに問題がある可能性があります。

- Windows 2000で、DVD-RAMメディアを「DVD-RAM driver」でフォーマットする場合や、「DVD-RAM driver」でフォーマットされたメディアにアクセスする場合は、「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」から行ってください。通常のCD-ROMアイコンからは行えません。
p.16「DVD-RAMメディアの使い方」

- 本ドライブとの相性により、書き込み済みのCD-Rメディア、CD-RWメディア、DVD-Rメディア、DVD-RWメディア、DVD-RAMメディアのデータを読み込めない場合があります。

現象　ディスクトレイが開かない。

対処
- コンピュータの電源が入っているか確認してください。

- 「B's CLiP」でフォーマットしたメディアは、イジェクトボタンを押しても取り出すことができません。メディアの取り出し方法については、「B's CLiP」のオンラインマニュアルをご覧ください。
p.18「オンラインマニュアルの見方」

- コンピュータ内部の周辺機器用電源ケーブルが、本ドライブに接続されているか確認してください。

- 上記の作業を行っても取り出せない場合は、ディスクトレイを強制的に開く方法があります。詳しくは、コンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』－「CD-ROMドライブを使う」－「強制的なCD-ROMの取り出し」をご覧ください。

現象　メディアをセットすると画面が開いてしまう。

対処
- セットしたメディアに自動再生機能がある場合は、自動的に画面が開きます。メディアに登録されている内容を見たい場合は、［キャンセル］または×をクリックして、画面を閉じます。そのあと、［スタート］－「マイコンピュータ」（Windows 2000の場合は「マイコンピュータ」をダブルクリック）－CD-ROMアイコンを右クリックして、「開く」を選択します。

現象　音楽CDやDVD VIDEO再生時に、スピーカなどから音声が出力されない。

対処

- ボリュームの調節が適切か確認してください。
- アンプ内蔵スピーカが、コンピュータの背面側にあるライン出力コネクタに接続されているか確認してください。サウンドボードをお使いの場合は、サウンドボードのライン出力コネクタに接続されているか確認してください。
- アンプ、またはアンプ内蔵スピーカのスイッチが入っているか確認してください。
- p.13「各ケーブルの接続」を参照して、CDオーディオケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、ケーブルに傷や損傷などがないか確認してください。

現象　メディアへの書き込みができない。

対処

- 本ドライブでは、DVD+RW、DVD+Rメディアへの書き込みはできません。
- 本ドライブの対応速度にあわせたメディアを使用しているかどうか確認してください。
  p.6「書き込み/読み出し速度」
- 本ドライブとの相性により、セットしたCD-Rメディア、CD-RWメディア、DVD-Rメディア、DVD-RWメディア、DVD-RAMメディアに書き込めない場合があります。
- メディアが正しくセットされているかどうか確認してください。
- メディアの表面に汚れや傷などがないか確認してください。
- メディアの残容量があるか確認してください。
- ヘッドレンズなどが汚れていないか確認してください。汚れが原因で、書き込みができない場合があります。

- メディアへの書き込みを行う場合には、専用のライティングソフトウェアが必要です。本ドライブには、ライティングソフトウェアとして「B's Recorder GOLD」と「DVD-RAM driver」、「B's CLiP」が添付されています。
  コンピュータ購入時には、「B's Recorder GOLD」と「DVD-RAM driver」がインストールされています。「B's CLiP」は必要に応じてインストールしてください。
  ☞p.19「ソフトウェアのインストールについて」

- Windows 2000で「DVD-RAM driver」でフォーマットしたメディアに書き込みを行う場合は、「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」にアクセスしてください。
  ☞p.16「DVD-RAMメディアの使い方」

- Windows XPで「B's CLiP」をご使用の場合、［スタート］－「マイコンピュータ」－CD-ROMアイコンを右クリック－「プロパティ」－「書き込み」タブ－「このドライブでCD書き込みを有効にする」のチェックを外してみてください。

現象　書き込み中に書き込みエラーが発生する。

対処
- Windowsが省電力モードに切り替わると、メディアへのデータ転送エラーが起き、書き込みに失敗する場合があります。書き込みを始める前に省電力機能を無効にしてください。
  ☞p.15「メディアへの書き込み時の注意」

現象　DVDの再生ができない。

対処

- 本ドライブでDVD VIDEOを再生する場合は、「WinDVD」を使用します。「WinDVD」がインストールされているか確認してください。購入時には、あらかじめ「WinDVD」がインストールされています。

- ディスプレイの画面解像度や色数、リフレッシュレートの設定を確認してください。
p.17「DVD VIDEOの再生」

- WinDVDを起動して、「プロパティ」ー「ビデオ設定」タブー「ハードウェア動き補償」のチェックを外してみてください。詳しくは「WinDVD」のオンラインマニュアルをご覧ください。
p.18「オンラインマニュアルの見方」

M/9581/1283212

古紙配合率100%再生紙を
使用しています

03.06.16（EP）